

令和6年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

中津川市青少年健全育成推進市民会議

■ 「子育て親育ちシンポジウム」の実践 ■

1 テーマ 「守ろう子どもたちの笑顔」

当市民会議では、第4回子育て親育ちシンポジウムを「守ろう！子どもたちの笑顔」をテーマとして11月30日（土）に開催した。この大会は、従前中津川市PTA連合会がおこなってきた研修大会と、青少年健全育成推進市民会議が行ってきた育成大会を一つにまとめ、中津川市全体として生き生きと笑顔で過ごせる子どもたちの姿を願い、子育てについて共通理解を深め、PTCAとして家庭・学校・地域社会が一体となり、地域ぐるみの子どもたちの健全育成を推進することを主旨として開催している。

会場：中津川市文化会館ホール 参加者数：120名

2 講演 講師：今井昌彦学長（浜松学院大学）

「スマホ・SNSとの適切な関わり方を学ぶ」と題して、①スマホ（SNS）は、なぜ“依存”に陥るのか・②ネット&学力、長期の研究からわかってきたこと・③身体への影響として、特に“急性内斜視”“スマホ難聴”“睡眠障害”の3点について書籍やTV、ネットの情報を駆使しながらお話しいただいた。参加者からは、「オーストラリアの16歳以下SNS利用禁止法案のニュースがありスマホの利用はそんなに危険なのか？と大変興味を持って聴くことができました（公民館職員）。」「我が子にスマホを与えようと考えていましたのでとても参考になる内容の講演内容でした。色々考えられました。アドバイス頂いた事を早速家族で実践したいと思います。（保護者）」といった感想が寄せられた。

3 トークセッション

PTAの代表者、まちづくり協議会の委員、小学校の校長をパネラーとし、市PTA連合会顧問がファシリテータとなって、「子どもたちの笑顔を守るために」をテーマに、それぞれの立場でどんなことができるのかを話し合った。参加者からは、『子どものために何ができるのか？』ファシリテータの最後の言葉が心に残りました。自分では何ができるか考えてみます（公民館職員）。」「子どもをよりよく育てるための活動がまちづくりになるし、そうして育ててもらった子どもたちが大人になって育ててもらったように街を作っていけば大きなまちづくりになると感じました（教師）。」といった感想が寄せられた。



写真：トークセッションの様子

4 まとめとして

年に1度、このシンポジウムのような機会を作り、親や教師をふくめた地域社会のいろいろな立場の大人が、いったん立ち止まって日頃の活動の意味やその値打ちを確かめ、互いの良さを認め合うことは大変意味のあることだ。今後も地域の皆で力を合わせてこの地域に住む子どもたちの背中をそっと押しあげることができるような地域の人づくりに寄与していきたい。

なお、「子育て親育ちシンポジウム」の当日の様子については動画に記録しYouTubeにより配信して、当日参加できなかった保護者や市民が視聴できるようにしている。